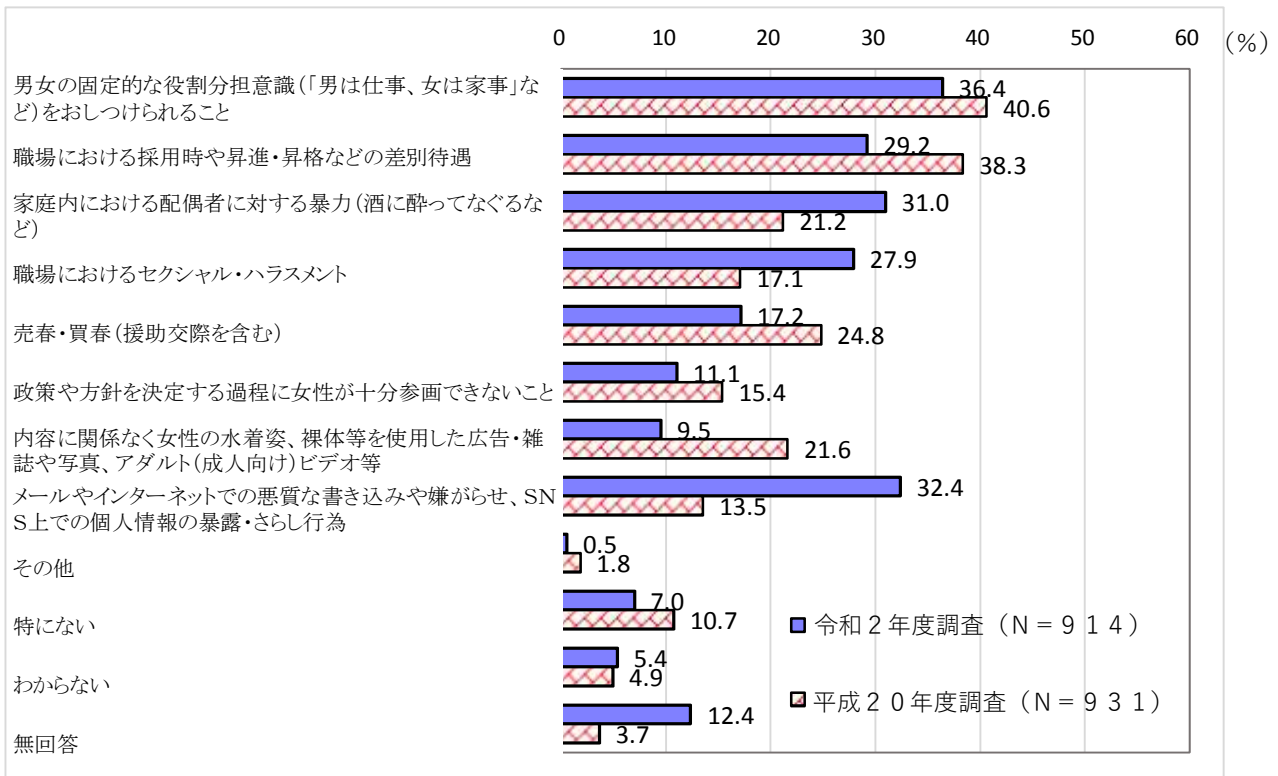


(2) 女性に関する人権上の問題点と見聞

(ア) 女性に関する人権上の問題点

問6 あなたは、女性に関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで)

図6-1-1 女性に関する人権上の問題点 (経年比較)

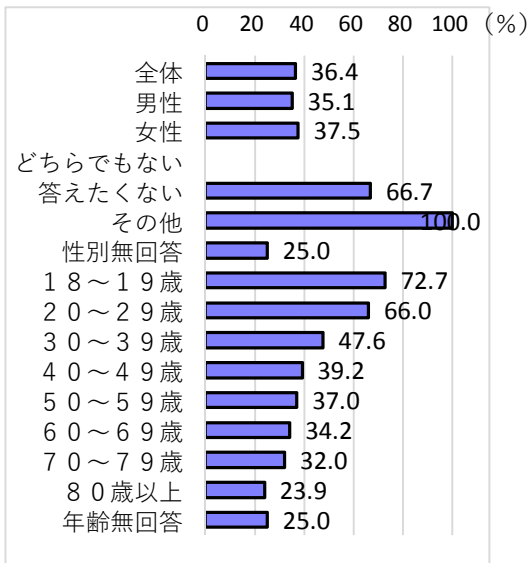


女性に関する人権問題を尋ねたところ、「男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家事」など)をおしつけられること」と答えた人が36.4%で最も高く、次いで、「メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為」(32.4%)、「家庭内における配偶者に対する暴力(酒に酔ってなぐるなど)」(31.0%)、「職場における採用時や昇進・昇格などの差別待遇」(29.2%)、「職場におけるセクシャル・ハラスメント」(27.9%)と続いている。

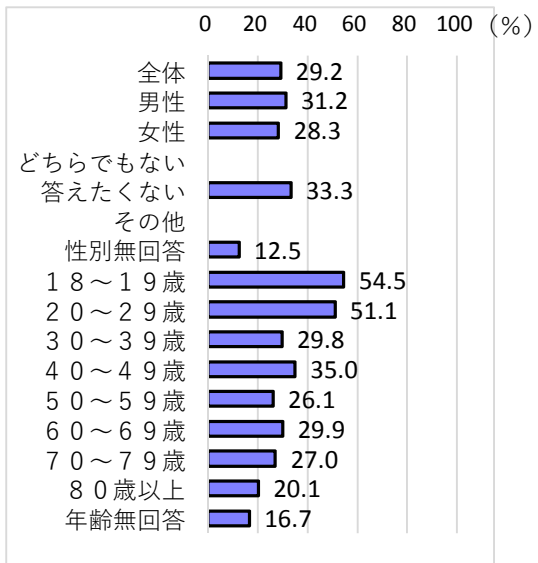
平成20年度調査結果と比較すると、「メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為」は18.9ポイント高く、次いで、「職場におけるセクシャル・ハラスメント」が10.8ポイント、「家庭内における配偶者に対する暴力(酒に酔ってなぐるなど)」が9.8ポイントと高くなっている。

図6-1-2 女性に関する人権上の問題点（性・年齢別）

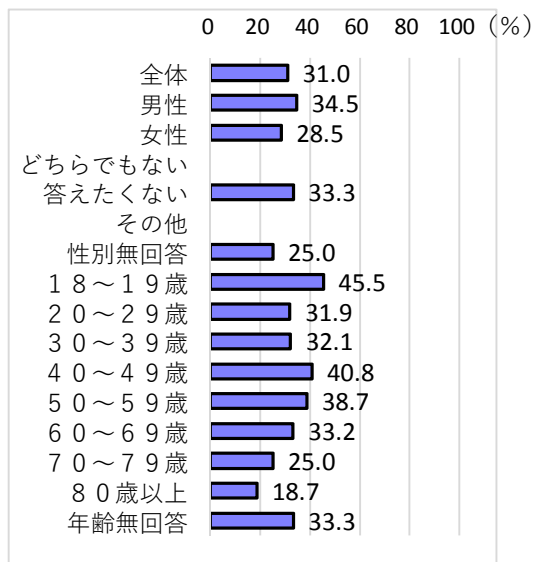
男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家事」など）をおしつけられること



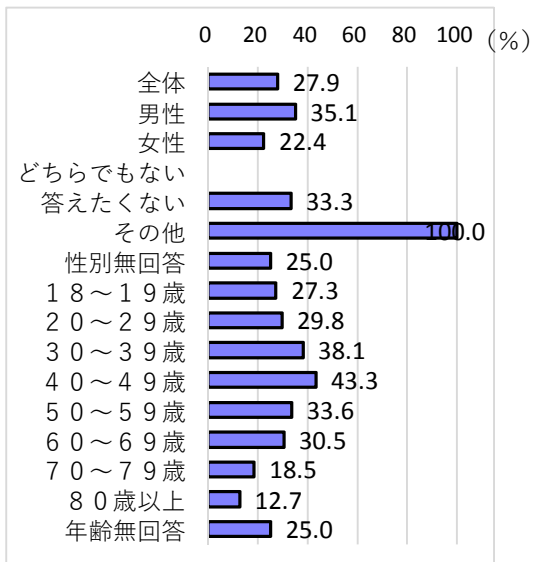
職場における採用時や昇進・昇格などの差別待遇



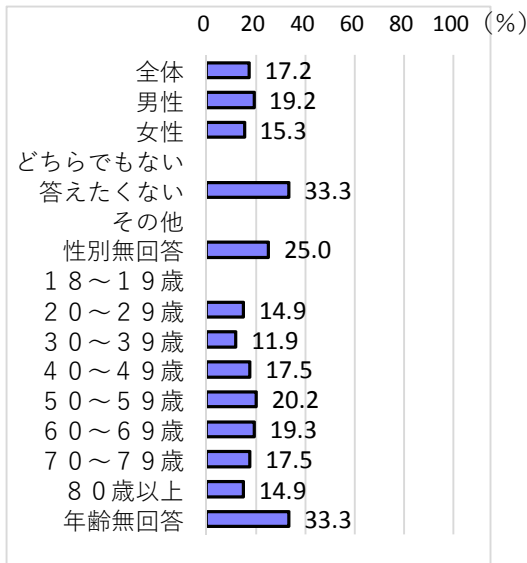
家庭内における配偶者に対する暴力（酒に酔ってなぐるなど）



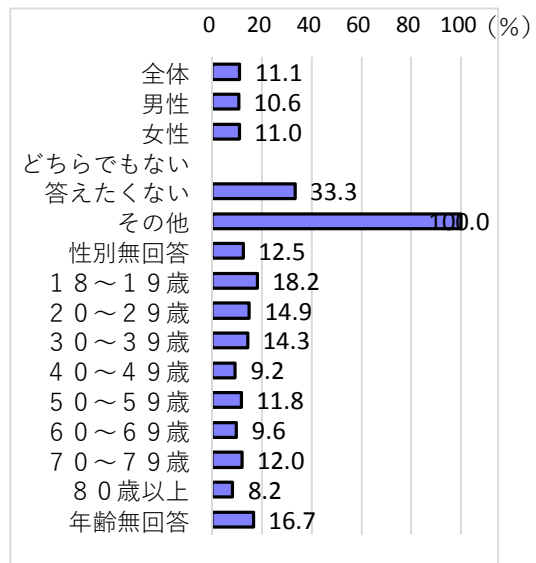
職場におけるセクシャル・ハラスメント



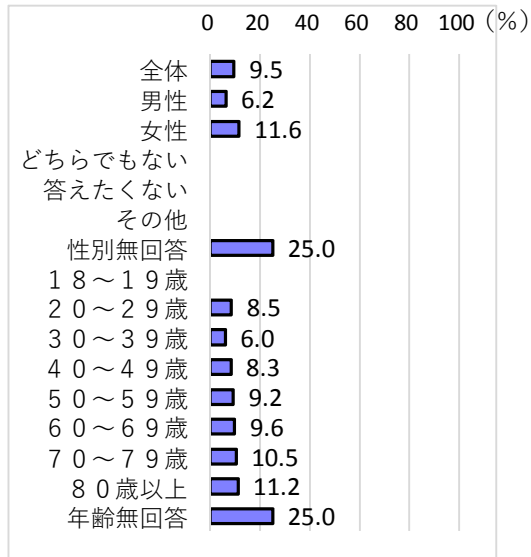
売春・買春(援助交際を含む)



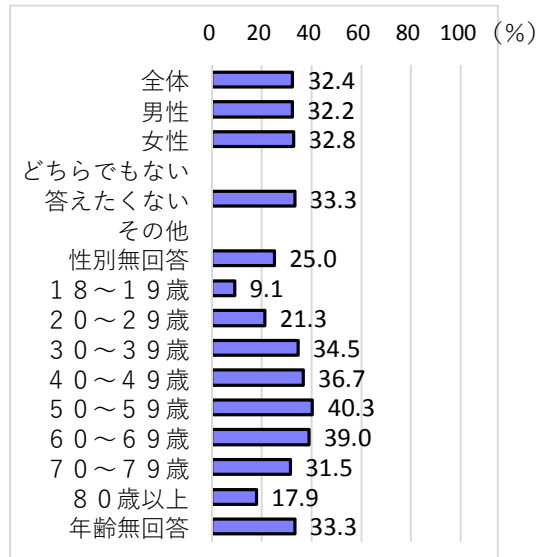
政策や方針を決定する過程に女性が十分参画できないこと



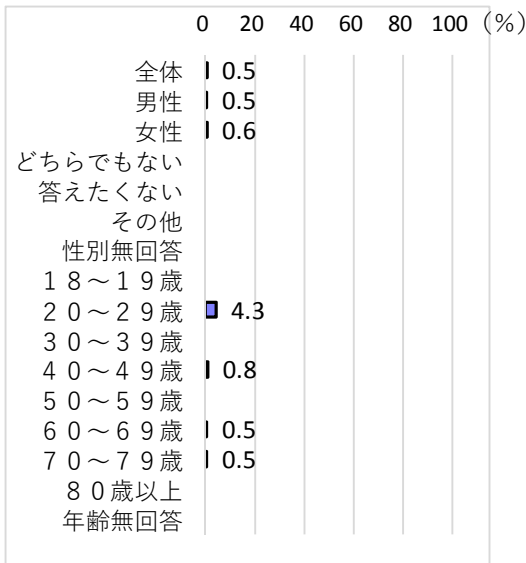
内容に関係なく女性の水着姿、裸体等を使用した広告・雑誌や写真、アダルト(成人向け)ビデオ等



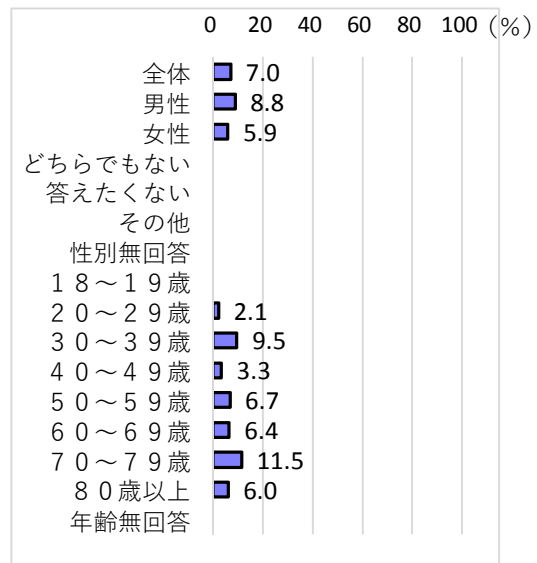
メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為



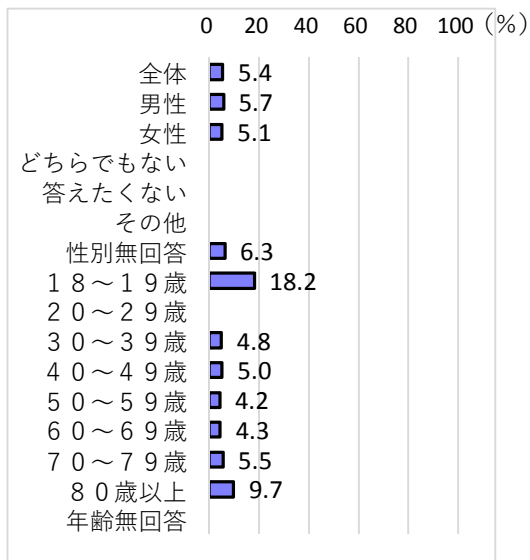
その他



特にない



わからない



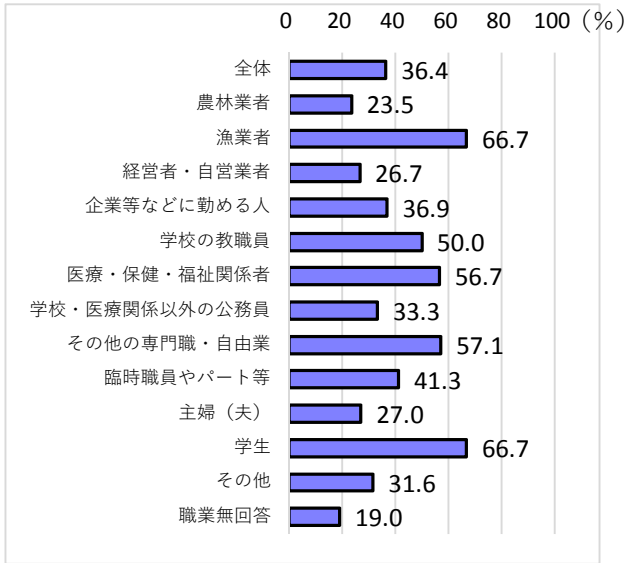
全体	(N=914)
男性	(N=385)
女性	(N=509)
どちらでもない	(N=0)
答えたくない	(N=3)
その他	(N=1)
性別無回答	(N=16)
18～19歳	(N=11)
20～29歳	(N=47)
30～39歳	(N=84)
40～49歳	(N=120)
50～59歳	(N=119)
60～69歳	(N=187)
70～79歳	(N=200)
80歳以上	(N=134)
年齢無回答	(N=12)

女性に関する人権上の問題点について性別にみると、男女ともに「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家事」など）をおしつけられること」の回答割合が最も高くなっている。また、男性は女性に比べ「職場におけるセクシャル・ハラスメント」（12.7ポイント差）の回答割合が高く、女性は男性に比べ「内容に関係なく女性の水着姿、裸体等を使用した広告・雑誌や写真、アダルト（成人向け）ビデオ等」（5.4ポイント差）の回答割合が高くなっている。

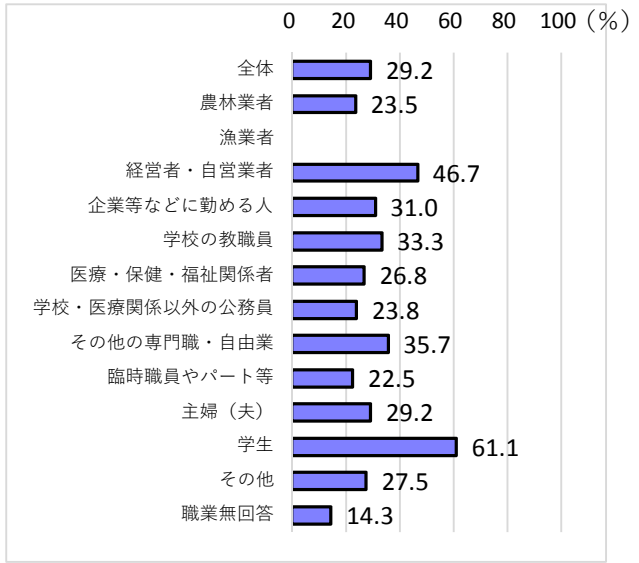
年齢別にみると、大半の年齢で「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家事」など）をおしつけられること」の回答割合が最も高くなっている。特に、18歳～19歳では72.7%となっている。

図6-1-3 女性に関する人権上の問題点（職業別）

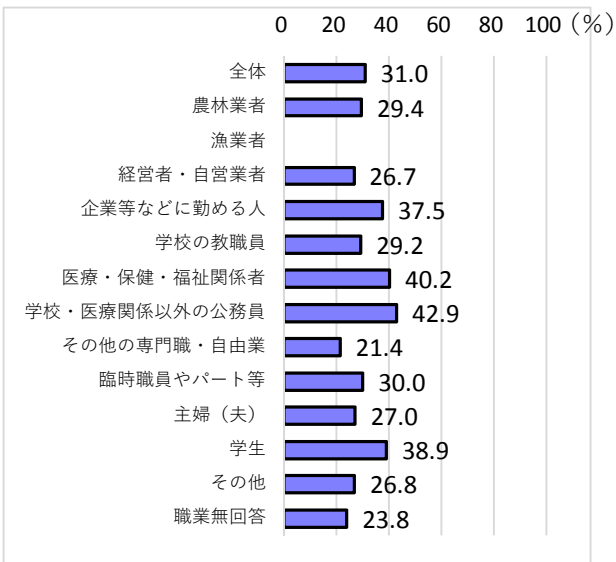
男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家事」など）をおしつけられること



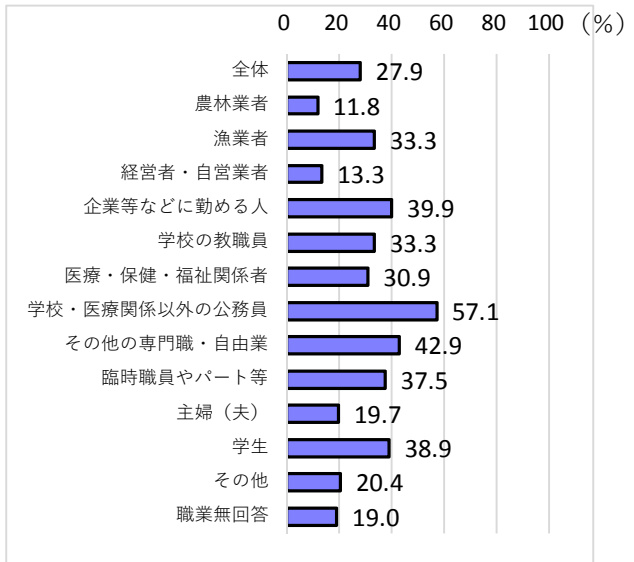
職場における採用時や昇進・昇格などの差別待遇



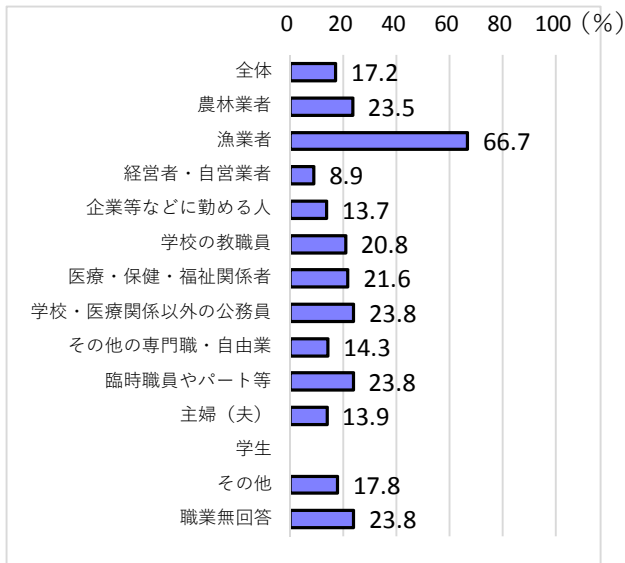
家庭内における配偶者に対する暴力（酒に酔ってなぐるなど）



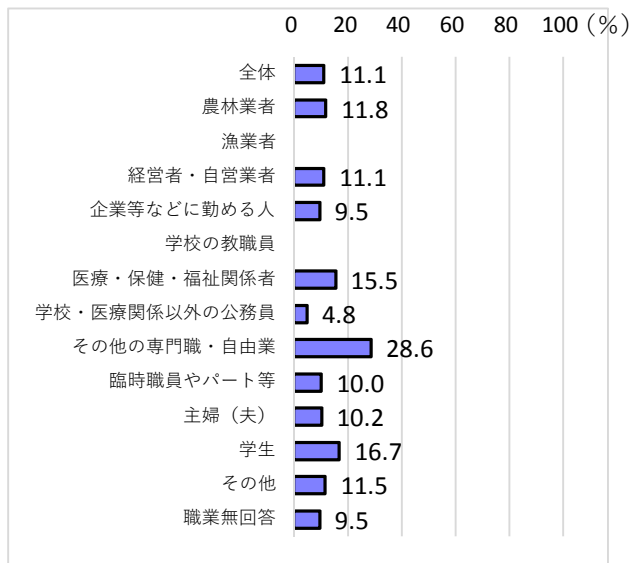
職場におけるセクシャル・ハラスメント



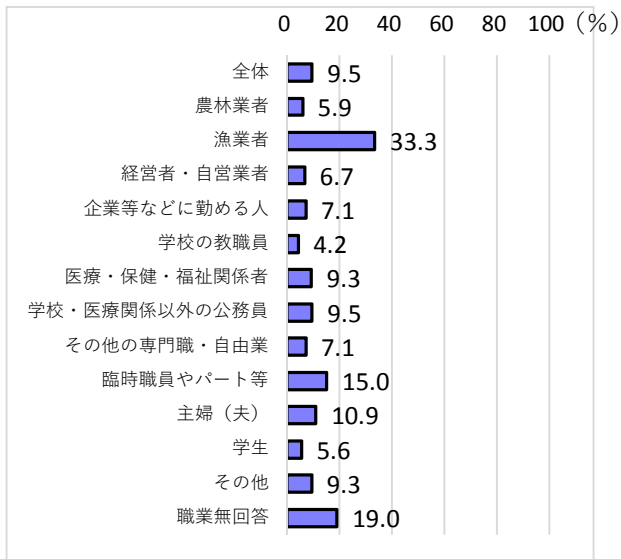
売春・買春(援助交際を含む)



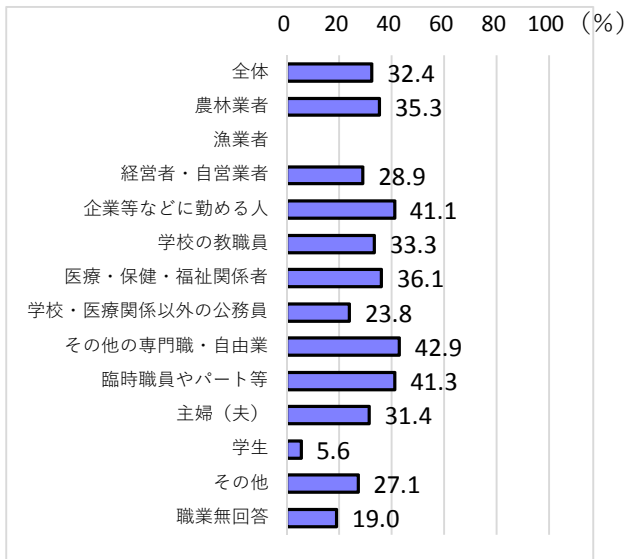
政策や方針を決定する過程に女性が十分参画できないこと



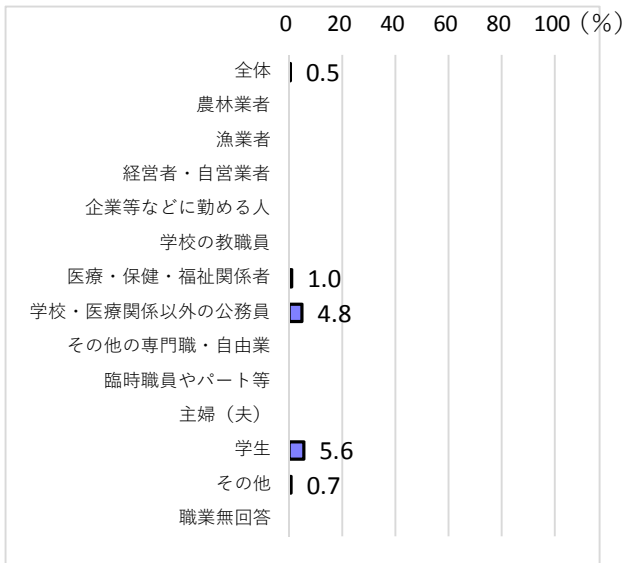
内容に関係なく女性の水着姿、裸体等を使用した広告・雑誌や写真、アダルト(成人向け)ビデオ等



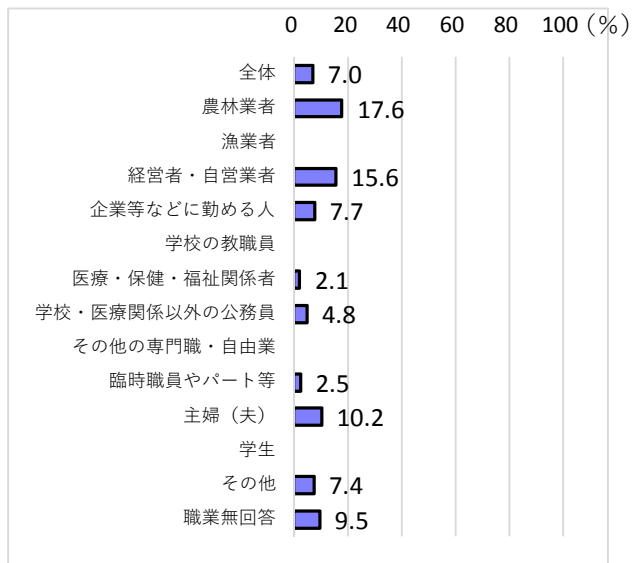
メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為



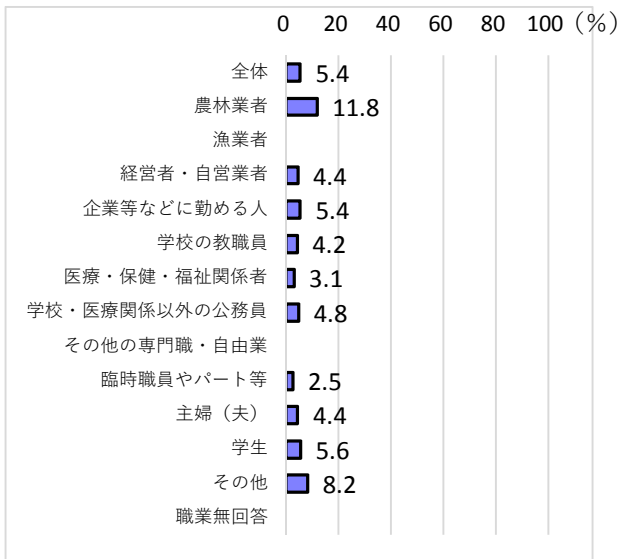
その他



特にない



わからない



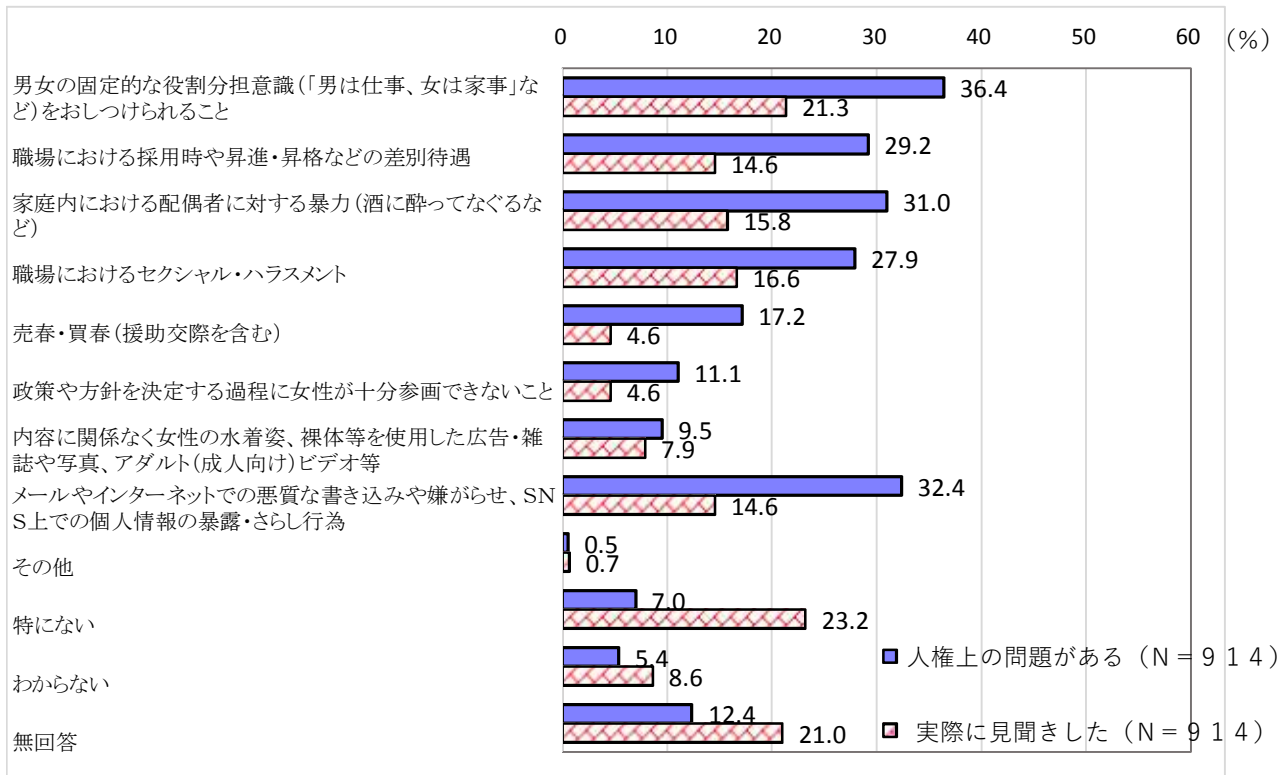
全体	(N=914)
農林業者	(N=17)
漁業者	(N=3)
経営者・自営業者	(N=45)
企業等に勤める人	(N=168)
学校の教職員	(N=24)
医療等の関係者	(N=97)
その他の公務員	(N=21)
他の専門職・自由業	(N=14)
臨時職員・パート等	(N=80)
主婦(夫)	(N=137)
学生	(N=18)
その他	(N=269)
職業無回答	(N=21)

女性に関する人権上の問題点について職業別にみると、大半の職業において「男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家事」など)をおしつけられること」の回答割合が最も高くなっており、漁業者、学生は66.7%となっている。また、学校・医療関係以外の公務員では「職場におけるセクシャル・ハラスメント」(57.1%)の回答割合が他の職業に比べ高くなっている。

(イ) 女性に関する人権問題を見聞きした経験

問6 また、あなたが、過去5年間に、実際に見聞きしたのがありますか。(✓は3つまで)

図6-2-1 女性に関する人権問題を見聞きした経験 (問題点・見聞比較)

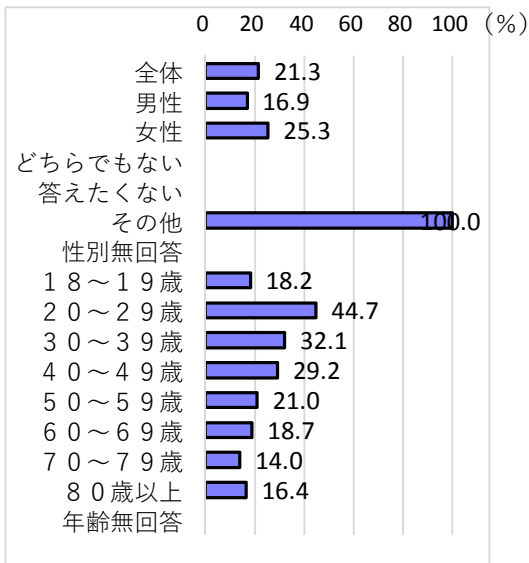


女性に関する人権問題について「見聞きした経験」をみると、「男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家事」など)をおしつけられることなど」をおしつけられることと答えた人が21.3% 次いで、「職場におけるセクシャル・ハラスメント」(16.6%)、「家庭内における配偶者に対する暴力(酒に酔ってなぐるなど)」(15.8%)、「職場における採用時や昇進・昇格などの差別待遇」(14.6%)、「メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為」(14.6%)と続いている。

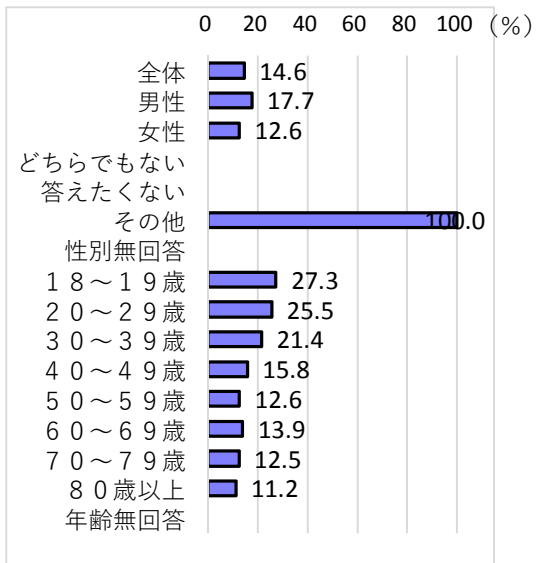
また、女性に関する人権問題について「見聞きした経験」と「問題点」を比較すると、具体的な事象を表す選択肢の回答割合については、すべて「見聞きした経験」が、「問題点」の回答割合を下回っている。

図6-2-2 女性に関する人権問題を見聞きした経験（性・年齢別）

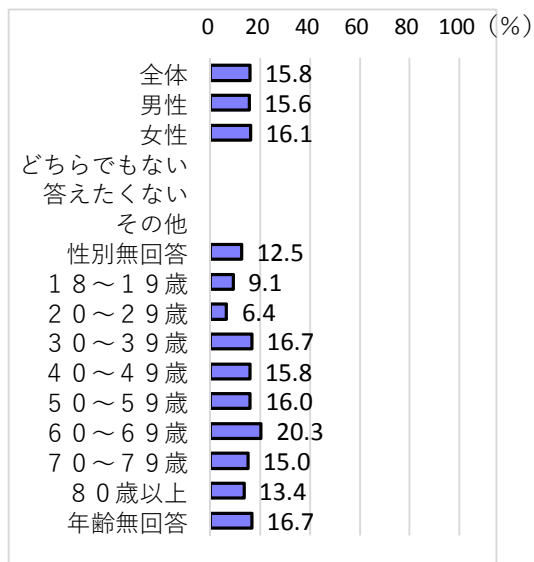
男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家事」など）をおしつけられること



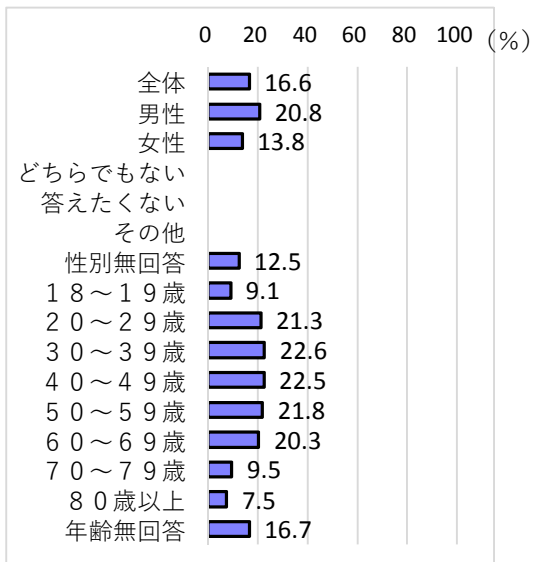
職場における採用時や昇進・昇格などの差別待遇



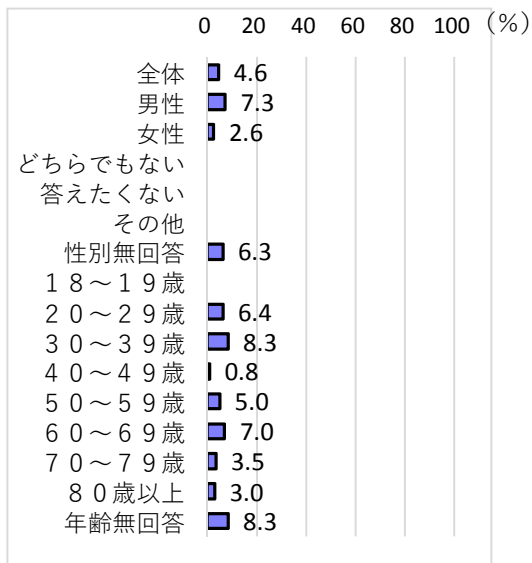
家庭内における配偶者に対する暴力（酒に酔ってなぐるなど）



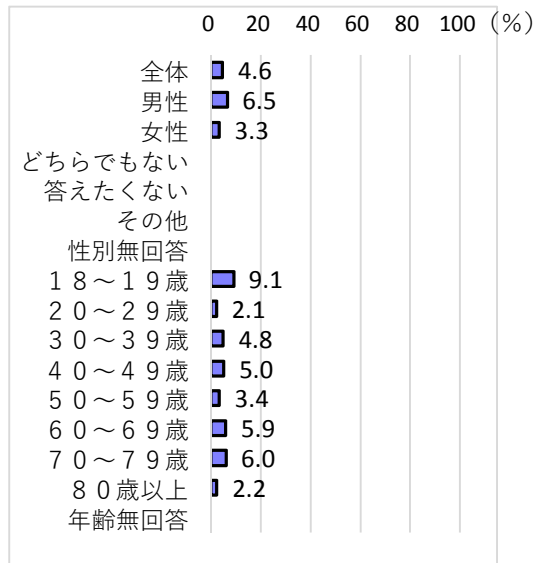
職場におけるセクシャル・ハラスメント



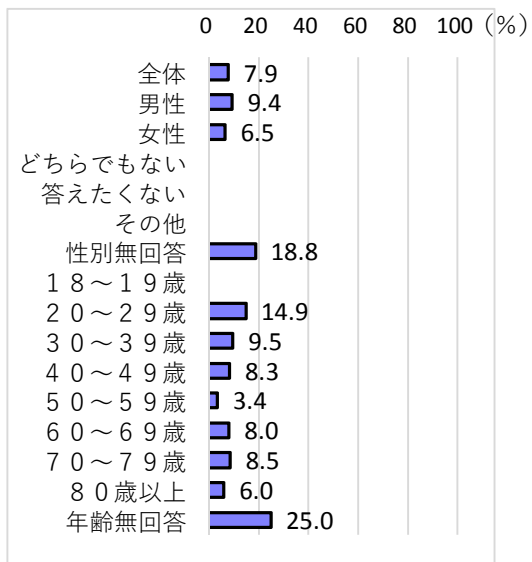
売春・買春(援助交際を含む)



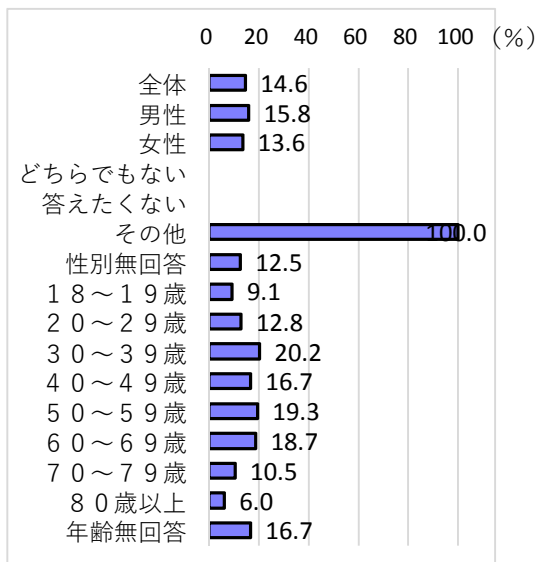
政策や方針を決定する過程に女性が十分参画できないこと



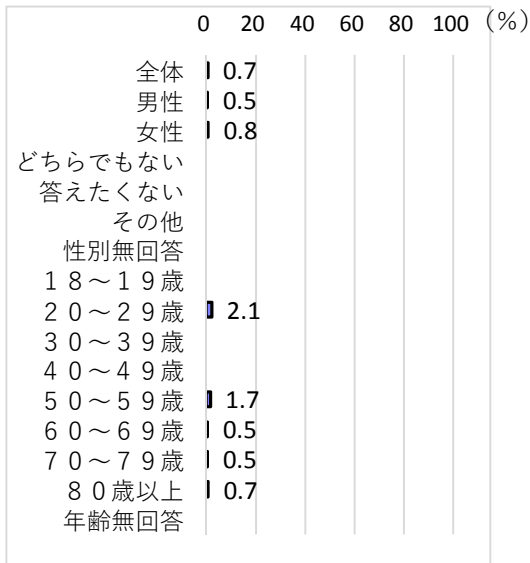
内容に関係なく女性の水着姿、裸体等を使用した広告・雑誌や写真、アダルト(成人向け)ビデオ等



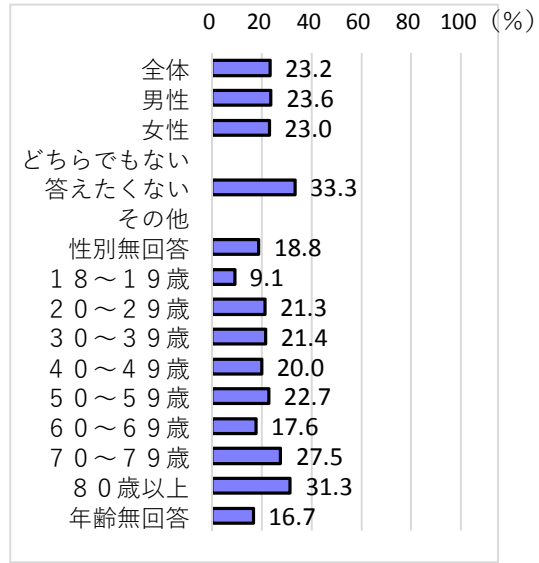
メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為



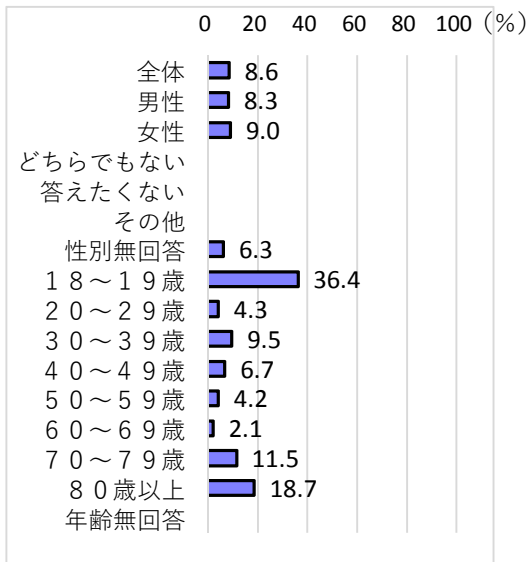
その他



特にな



わからない



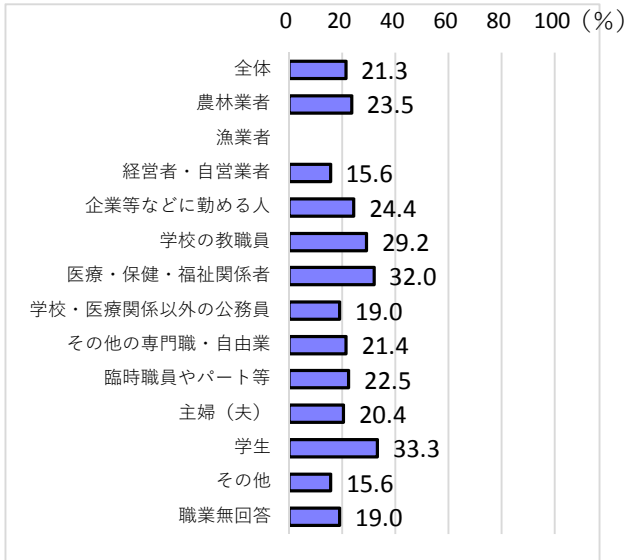
全体	(N=914)
男性	(N=385)
女性	(N=509)
どちらでもない	(N=0)
答えたくない	(N=3)
その他	(N=1)
性別無回答	(N=16)
18～19歳	(N=11)
20～29歳	(N=47)
30～39歳	(N=84)
40～49歳	(N=120)
50～59歳	(N=119)
60～69歳	(N=187)
70～79歳	(N=200)
80歳以上	(N=134)
年齢無回答	(N=12)

女性に関する人権問題の「見聞きした経験」について性別にみると、男性は「職場におけるセクシャル・ハラスメント」(20.8%)、女性は「男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家事」など)をおしつけられること」(25.3%)の回答割合が最も高くなっている。

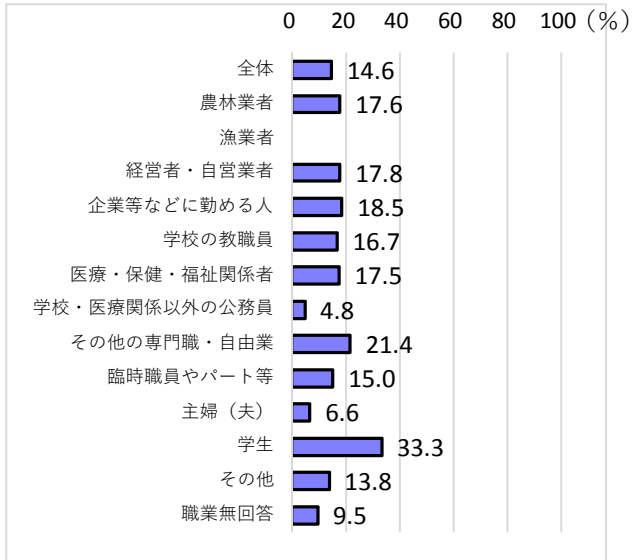
年齢別にみると、20歳～49歳は「男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家事」など)をおしつけられること」、50歳～69歳は「職場におけるセクシャル・ハラスメント」の回答割合が最も高くなっている。

図6-2-3 女性に関する人権問題を見聞きした経験（職業別）

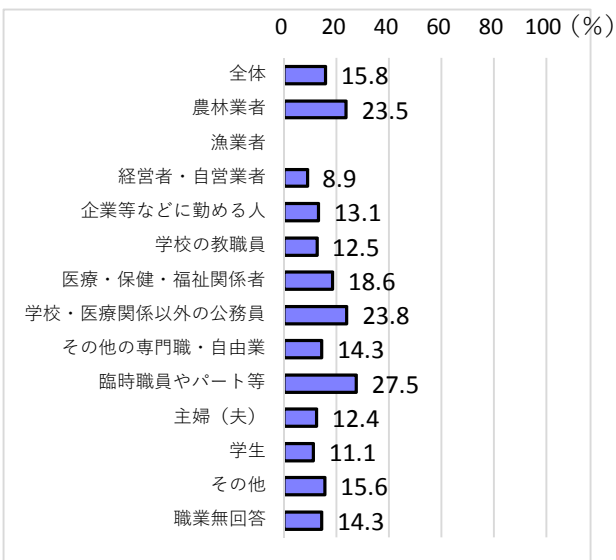
男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家事」など）をおしつけられること



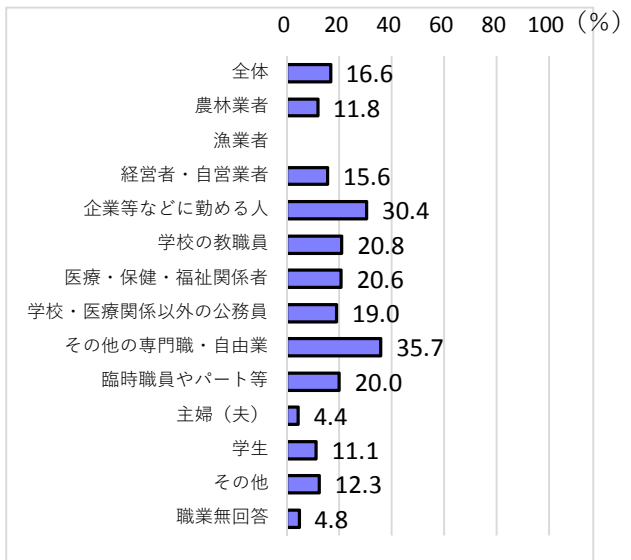
職場における採用時や昇進・昇格などの差別待遇



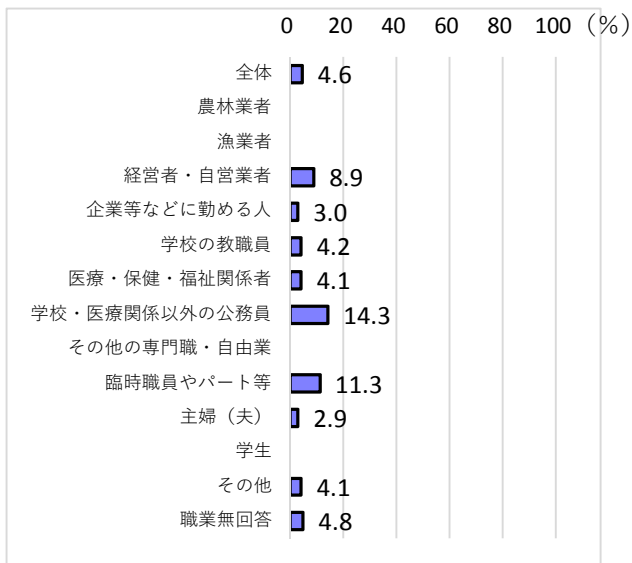
家庭内における配偶者に対する暴力（酒に酔ってなぐるなど）



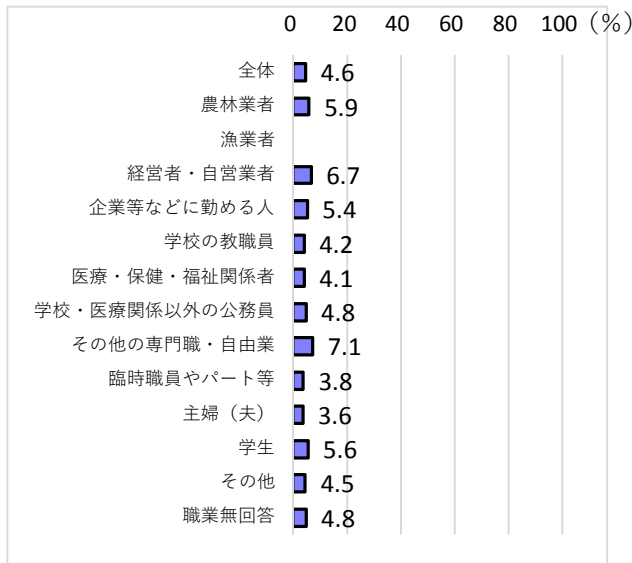
職場におけるセクシャル・ハラスメント



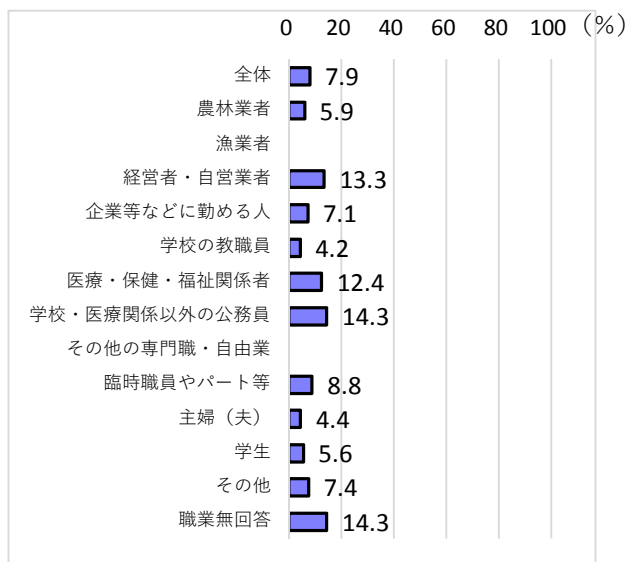
売春・買春(援助交際を含む)



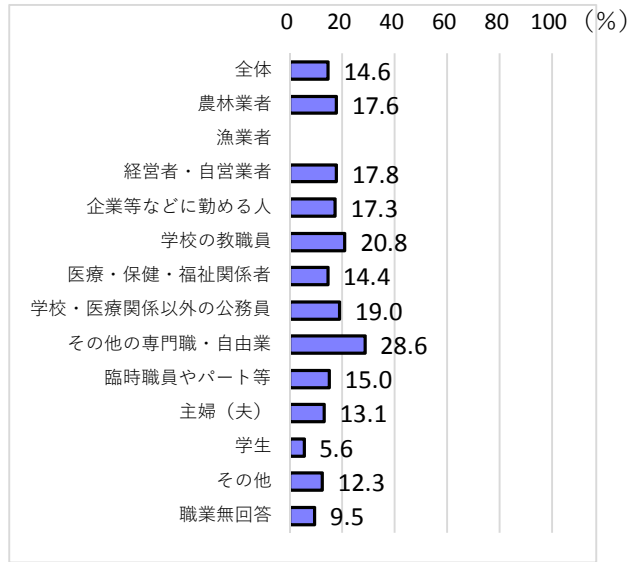
政策や方針を決定する過程に女性が十分参画できないこと



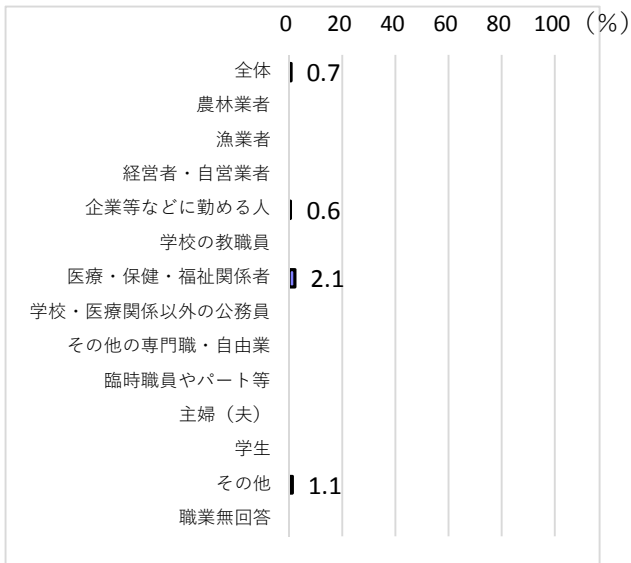
内容に関係なく女性の水着姿、裸体等を使用した広告・雑誌や写真、アダルト(成人向け)ビデオ等



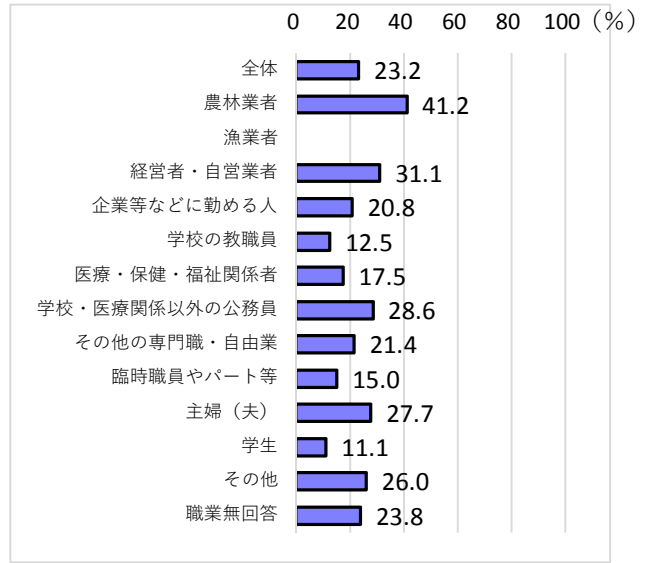
メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為



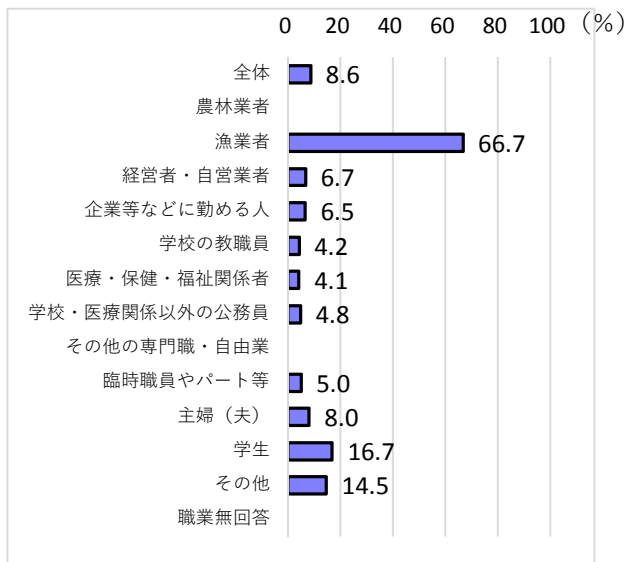
その他



特にない



わからない



全体	(N=914)
農林業者	(N=17)
漁業者	(N=3)
経営者・自営業者	(N=45)
企業等に勤める人	(N=168)
学校の教職員	(N=24)
医療等の関係者	(N=97)
その他の公務員	(N=21)
他の専門職・自由業	(N=14)
臨時職員・パート等	(N=80)
主婦(夫)	(N=137)
学生	(N=18)
その他	(N=269)
職業無回答	(N=21)

女性に関する人権問題の「見聞きした経験」について職業別にみると、大半の職業において「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家事」など）をおしつけられること」の回答割合が最も高くなっており、学生は33.3%となっている。また、その他の専門職・自由業では「職場におけるセクシャル・ハラスメント」(35.7%)の回答割合が他の職業に比べ高くなっている。